

省庁名	法務省
-----	-----

連番	事業名	新・継区分	施策・事業概要	29年度予算額 (百万円)	28年度予算額 (百万円)	補助率	実地主体	公募スケジュール	申請方法	照会窓口	28年度NPO への実績	備考
1	被害者の視点を 取り入れた教育の 実施	継続	特定非営利活動法人いのちの ミュージアムが主催する「生 命のメッセージ展」を全国の 刑務所及び少年院で開催し、 被害者の苦しみを理解させ、 真摯な謝罪に向けた動機付け を図るなど、被収容者に対す る「被害者の視点を取り入れ た教育」を実施する（5か年 計画最終年次）。	11	9	—	国	—	—	矯正局 総務課 03-3580-4111 (内線 5658)	執行件数 1件 執行額 7百万円	P2
2	刑務所出 所者等の 住居の確 保（更生緊 急保護等 の委託）	継続	適当な住居のない刑務所出所 者等について、保護観察所の 長が更生保護事業を営む者等 に委託して宿泊場所の供与等 を実施する。	(5,022の 内数)	(4,809の 内数)	—	国	—	—	保護局 更生保護 振興課 03-3580-4111 (内線 2635)	未確定	P3
合計 (内数事業を除く)		—	—	11 (増減額) 2 (増減 率%) 122.2	9	—	—	—	—	—	—	—

被害者の視点を取り入れた教育の実施

「生命のメッセージ展」

- 特定非営利活動法人いのちのミュージアムが運営
- 殺人事件、交通犯罪、いじめ等の結果死亡した被害者の姿を遺族が等身大の白いパネルに切り出し、同パネルに被害者の写真を貼るとともに、足元に同被害者の靴を置き展示することで生命の大切さを訴える展示会

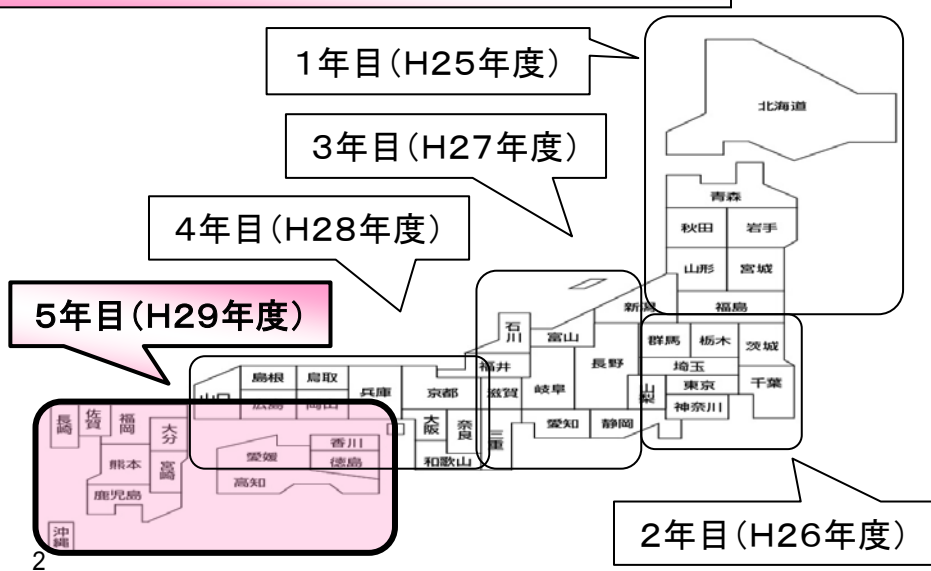
「メッセンジャー」

犯罪被害者の写真、当時の日記等を犯罪被害者の等身大の白いパネルに張り付け、メッセージを届ける。



「メッセンジャー」が、全国の刑事施設・少年院に犯罪被害者としての「メッセージ」を届ける

刑事施設・少年院で実施(5か年計画)



矯正施設における「生命のメッセージ展」実施状況



(刑務所被収容者) ※原文抜粋
理不尽にも命を落とされた方の写真や靴を拝見して、胸が苦しくなりました。改めて自分の行いを反省させられ、今日のことは忘れないようにしたいと思えます。

(少年院被収容者)
犯罪被害者の生の声を聞くことができました。彼らも僕らと一緒に夢や希望があったことを知りました。僕は、夢や希望に向かっていた被害者の邪魔をしてしまったことに気が付くことができました。

「生命尊重の意識のかん養」, 「被害者、遺族の心の痛みへの気付き」

「被害者の視点を取り入れた教育」による再犯の防止

緊急的住居確保・自立支援対策(自立準備ホーム)の概要

更生保護施設

- 更生保護施設は、生活基盤が確保できない刑務所出所者等の最後の砦
- 一方で、行き場のない刑務所出所者等は多数に上っており、多様な受皿を確保することが必要



新たな仕組みが必要

緊急的住居確保・自立支援対策

